

					授業コード*	6088		
授業科目	機能看護方法3 (組織とマネジメント) Management in Nursing 3 (Organization & Management)	責任教員 橋本 麻由里 古澤 幸江	単位数	1	科目区分	必修	科目履修	可
			時間数	30	開講セメスター	6		
目的と目標	<p>目的：よい看護を行うために発展し続ける組織・チーム・個人の視点で、組織とマネジメントについて学修する。</p> <p>目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> 優れた組織の条件、すなわち理念・価値・目標の共有のもと一貫性のある看護実践を行い、変化・改革を起こすことのできる組織とは何かを理解する。 組織におけるリスクマネジメントとその意義について理解する。 組織・チームにおける看護専門職としての個人の貢献のあり方について理解する。 保健・医療・福祉・介護の組織と看護専門職としてのメンバーシップ・リーダーシップについて理解する。 <p>既修のセルフマネジメント、看護情報、キャリアマネジメントの学修を活かして組織とマネジメントについて理解する。</p>							
回数	学修課題	内容並びに方法						担当教員
1・2	I 導入・組織の理解 1. 組織・チームとは何か 2. 組織とマネジメントを学ぶ意義 3. 組織の理念、理念と実践の一貫性とは 4. 保健・医療・福祉・介護サービスを提供する組織の理解	<p>学生の授業への主体的参加により学習を行います。そのため、グループワークや全体討議の運営・進行も学生主体で行います。</p> <p>本科目の目的・目標、および進め方についてのガイダンス (講義)</p> <p>組織とは何か、チームとは何かについて理解する。組織とマネジメントを学ぶ意義、組織の実例を理解する。マネジメントとリーダーシップの関係性について</p> <p>【課題】：臨地実習で体験した保健・医療・福祉・介護の組織の理念とその実践について、個々の看護専門職が行っていたこと、チームで行っていたことは何か。</p> <p>保健・医療・福祉・介護サービスの成り立ちとサービスとしての特性や関連する他職種を理解、看護職の社会的責務を踏まえ保健医療福祉の組織を理解する。(講義・個人ワーク)</p>						橋本 米増
3・4	II 組織・チームのマネジメント 1. 優れた組織・チームの条件 組織の理念、理念と実践の一貫性とは	<p>文献・実例・実習・体験を基に、優れた組織・チームの条件を理解する。保健・医療・福祉・介護の組織の理念及び理念と実践の一貫性とは何かの理解を深める。グループワークへの参加をとおしてチームに貢献することを実践する。(グループワーク①)</p> <p>(発表・全体討議)</p>						古澤 吉川
5・6	2. 組織のマネジメントの実際	<p>実例を基に組織のマネジメントについて学ぶ。(講義)</p> <p>(グループワーク②・発表・全体討議)</p>						長屋 安田
7・8	3. リスクマネジメント 1) リスクマネジメントの実際	<p>医療現場におけるセーフティマネジメントやリスクマネジメントの実例を基に学ぶ。(講義)</p> <p>(グループワーク③・発表・全体討議)</p>						古澤 吉川
9	2) 健康危機とマネジメント	<p>健康危機管理に対応する常時・非常時のマネジメントを理解する。(講義)</p>						授業協力者 米増 太田
10	III 組織への個人の貢献 1. 保健・医療・福祉・介護の組織における看護専門職としての個人の貢献	<p>1人1人が自己の看護実践をマネジメントすることと、組織の一員、また看護専門職として組織に貢献することの理解を深める。(グループワーク④・発表・全体討議)</p>						米増 安田
11・12	2. 看護専門職としてのメンバーシップとリーダーシップ	<p>・メンバーシップ、リーダーシップとは何か ・組織の一員また看護専門職としてのメンバーシップやリーダーシップ発揮の必要性を理解する。(講義)</p> <p>(グループワーク⑤・発表・全体討議)</p>						古澤 太田
13	IV 学習の統合①	<p>保健・医療・福祉・介護の組織・チームの一員として、他職種・他施設と連携しチームワークを行うために、看護専門職が果たすべき役割・機能は何か。</p> <p>(グループワーク⑥・発表・全体討議)</p>						古澤 太田
14	学習の統合②	<p>【課題レポート】あなたが実習で経験した保健・医療・福祉・介護の組織において、組織の一員また看護専門職として貢献することについて考える。</p>						古澤 橋本
15	V 総括	<p>機能看護学の目的「一人ひとりがよい看護をする、組織でよい看護をする、生涯にわたり成長し続ける」を踏まえ、組織とマネジメントについてこれまでの学修を振り返り総括する。(講義・全体討議)</p>						橋本 米増 古澤
評価方法	授業への参加・貢献(グループ演習などへの参加状況)30%、授業終了時のミニレポート30%、課題レポート40%の配分で評価する。							
参考文献と資料	看護法令要覧(日本看護協会出版会) 他、必要時授業にて提示							
事前準備	機能看護学領域が1、2年次に開講している科目を十分復習しておくこと。学習内容に示したことは事前学習を要する。							
受講要件								